

関係者各位

アフリカ連合日本政府代表部
経済・開発協力班

当代表部ではアフリカ各国に関連するビジネスニュースに加え、民間セクター・関係機関に有益と思われるトピックを中心に毎月配信しております。ビジネストレンド、経済動向、投資環境や法規制など、アフリカでビジネスを展開中、あるいは進出を検討している方々にとってお役に立てればと思っております。また同時当代表部ではウェブサイトに加えて、X(旧twitter)のアカウントも以下の通りございますので拡散・フォローいただけますと幸いです。

また今月8月20日－22日の間、横浜にて待ちに待ったTICAD9が開催されます。より意義のあるイベントになるよう皆様からいただいたご協力にこの場を借りて感謝申し上げます。テーマ別イベントなど各社各機関のブースへ積極的に足を踏んでいただけますと幸いです。

当代表部ウェブサイト: https://www.au-mission.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

同 Xアカウント: https://x.com/mission_japan

大使 Xアカウント: <https://x.com/AmbJapantoAU>

配信内容へのご意見或いは新規登録希望の方は以下のアドレスに
組織名、氏名、役職をご記入の上お願いします。

keizaikaihatsu@ua.mofa.go.jp

■東部アフリカ

(1)【エチオピア】コーヒー輸出過去最高を記録

エチオピアは2024/25会計年度(2025年6月終期)において46.9万トンを輸出し、26.5億米ドルの収入をあげた。これまでの実績を大幅に上回り、前年度比数量で144%、収入で147%の増加を記録した。

<https://ethiopianmonitor.com/2025/07/08/ethiopias-annual-coffee-export-earnings-hit-2-65-billion/>

(2)【エチオピア】ケニア経由でタンザニアへの電力供給を開始

エチオピアはケニアの高圧送電網を通じて初めてタンザニアへの電力輸出を正式に開始。地域間の電力貿易の新時代を告げる画期的な一歩となった。

<https://ethiopianbusinessreview.net/ethiopia-begins-supplying-power-to-tanzania-via-kenya/>

(3)【エチオピア】医薬品用キャッサバ澱粉に大きな可能性

産業プロジェクトサービス公社(IPS)は、医薬品グレードのキャッサバ澱粉生産に関する調査を実施し、地元医薬品産業を活性化させる可能性について示唆した。

<https://press.et/herald/?p=119475>

(4)【ケニア】東アフリカ最大級の製鉄工場の着工式に出席:

ケニアのルト大統領は、ケニアとウガンダの共同事業である地域最大の製鉄工場の着工式に出席すると発表。同プロジェクトは、地域内の生産拡大と鉄鋼輸入依存度を下げる

ことを目標に進められている。

<https://www.the-star.co.ke/news/2025-07-30-ruto-to-join-museveni-for-launch-of-east-africas-biggest-steel-plant>

(5)【ルワンダ】新規リチウム鉱床が「世界級」と評価

2024年9月に掘削活動が南部州で開始され、先月発表された調査では3.5mの区間で3.2%のリチウム含有量が確認された。高品位のリチウム鉱床に欧米を中心に注目が集まっている。

<https://allafrica.com/stories/202507150550.html>

(6)【タンザニア】2030年までに地熱発電に1.48兆シリング(約6億米ドル)を投資:

タンザニアは5年以内に2千メガワットの追加電力を必要としており、地熱の有効利用について積極的に検討をしている。再生可能エネルギーの一つである地熱発電にタンザニア政府は集中投資を行う。

<https://energyinafrica.com/insight/inside-tanzanias-ambitious-plan-to-add-2000mw-in-5-years/>

(7)【タンザニア】発電における原子力エネルギー利用の推進中

タンザニアエネルギー省は、大統領令発令に伴い発電への原子力エネルギー利用に関する実施措置を開始。特別作業部会の議長を務めたエネルギー省副事務次官、カティブ・カズング博士は、原子力エネルギープログラムの実施フェーズについて議論したと述べた。

<https://allafrica.com/stories/202507030044.html>

■西部アフリカ

(8)【コートジボワール】2年以内の国内カカオ加工率50%を目指す

コートジボワール国家規制機関のトップは、国内第2のカカオ加工工場(年間5万トン規模)の開所式で、国内カカオ加工率を現在42%から2年以内に50%に引き上げる計画を表明。

<https://www.esmmagazine.com/supply-chain/ivory-coast-aims-for-50-local-cocoa-processing-within-two-years-291367>

(9)【ギニア】ギニアのクリティカルミネラル産業の促進と投資拡大を目指す覚書締結

ギニア鉱業協会とクリティカル・ミネラルズ・アフリカ・グループは戦略的パートナーシップの促進、投資の誘致、およびギニアのクリティカル・ミネラルズ産業の巨大な潜在能力の解放を目的とした画期的な覚書締結を発表。

<https://www.africa-newsroom.com/press/guinea-chamber-of-mines-and-critical-minerals-africa-group-sign-landmark-memorandum-of-understanding-mou-to-boost-inward-investment-and-accelerate-guineas-critical-minerals-sector?lang=en>

(10)【ナイジェリア】ダンゴテ製油所、年内に原油輸入を終了へ

ダンゴテ製油所は、65万バレル／日の生産に必要な原油を全て国内調達する方針を検討しており、原油輸入の終了見込みは2025年末を予想。同製油所は現在必要量の約半分を国内調達している。

<https://allafrica.com/stories/202507090016.html>

(11)【セネガル】コスモス・エナジーとパートナー企業が LNG プロジェクトで商業運転開始

エネルギー大手企業コスモス・エナジーと BP(オペレーター)が主導し、セネガルの国営石油会社ペトロセンとモーリタニアの国営石油会社ソシエテ・モーリタニエンヌ・デ・ヒドロカルブリが参画するグレート・トルトゥ・アメイム(GTA) LNG 開発プロジェクトは、世界でも最も低コストのグリーンフィールドプロジェクトの一つである。セネガルとモーリタニアの海上国境に位置している。商業運転が開始されると共に LNG 船の 20 年間のリースおよび運営契約も開始された。

<https://www.africa-newsroom.com/press/kosmos-energy-and-partners-achieve-commercial-operations-at-greater-tortue-ahmeyim-gta-liquefied-natural-gas-lng-project?lang=en>

(12)【カメルーン】ルチル(金紅石)鉱床の潜在的埋蔵量に鉱山大手が再チャレンジ

カメルーン政府は鉱業の活性化を模索しており、10年以上前にカメルーン企業アルカムから撤退した鉱山大手リオ・ティントが探査許可の取得に向けた取り組みを強化。

<https://www.africaintelligence.com/central-africa/2025/07/31/potential-rutile-deposits-attract-mining-giant-rio-tinto,110497263-gra>

■南部アフリカ

(13)【モザンビーク】カシューナッツ生産が急拡大

モザンビークのカシューナッツ生産量は、同国が世界第2位の生産を誇った半世紀以上前の水準を突破する見込み。植民地時代には年間20万トンを生産していたが、1975年の独立後は年間1.5万~2万トンまで急落。生産量はその後徐々に増加し、昨年は19.5万トンに達し、半世紀前の水準に近づいた。

<https://macaonews.org/news/lusofonia/mozambique-cashew-crop-production/>

(14)【ザンビア】BB Energy 太陽光発電所を稼働開始

BB Energy は、ザンビアで初の商業用太陽光発電所(25メガワットピーク)を稼働させ、南部アフリカ電力プール(SAPP)での電力取引を開始。

<https://renewablesnow.com/news/bb-energy-starts-up-25-mwp-solar-farm-in-zambia-eyes-500-mwp-regionally-1279361/>

(15)【アンゴラ】中国 CITIC Construction が大規模なトウモロコシと大豆の生産を開始

中国企業 CITIC Construction は、アンゴラにおける大規模農業プロジェクトへの発表し、第1段階として2.5億米ドルを投資する計画。プロジェクトはトウモロコシと大豆の生産に焦点を当てており、交わされた覚書には、種子認証のための現代的な遺伝子改良研究所の設置、農薬と肥料の生産チェーンを支援するための農業資材の促進、主要農業地域に

おけるスマート貯蔵システムの導入、および農業製品の購入に関する合意の締結が含まれると述べた。

<https://www.macaubusiness.com/angola-chinese-group-to-invest-250m-to-produce-corn-soybeans-on-large-scale/>

(16)【ボツワナ】ネクスメタルズ、鉱山開発で米国輸出入銀行の支援可能性を確保

探査・開発企業ネクスメタルズ・マイニングは、米国輸出入銀行 (EXIM) から、ボツワナにある 2 つの重要金属資産の再開発向けに最大 1.5 億米ドルの融資可能性を示す意向書を受け取った。最長 15 年の返済期間が想定されており、バンクーバーに本社を置く同社は声明で、ネクスメタルズのセレビとセルキルクにおけるニッケル/銅/コバルト/プラチナグループ金属プロジェクトの再始動を支援する可能性があるとして述べた。

<https://www.miningweekly.com/article/nexmetals-secures-potential-exim-support-for-botswana-mines-2025-07-21>

■北部アフリカ

(17)【エジプト】食料安全保障強化の一環として小麦貯蔵能力を10年間で倍増達成

エジプト政府は過去 2014 年からの 10 年間で小麦サイロを 35 基から 81 基に拡張、貯蔵容量は 120 万トンから 340 万トンに拡大した。これに加えて今後は収穫後のロス削減やサプライチェーンの効率化を目指しており、同国が世界最大の小麦輸入国であることから、国内市場の安定化に貢献すると述べた。<https://en.amwalalghad.com/egypt-expands-grain-silos-to-boost-food-security-cabinet/>

(18)【エジプト】テレコム・エジプトとサブコム、エジプトで海底ケーブル敷設完了

テレコム・エジプトは海底ケーブル敷設大手のサブコムとの協力の下、地中海沿岸のポートサイドと紅海沿岸のラス・ガルブというエジプトの 2 つの主要な地点で、SEA-ME-WE-6 ケーブルシステムの敷設に成功したと発表した。地域およびグローバルな接続性の拡大における重要なステップであり、高容量で耐障害性の高い通信インフラへの需要に対応する予定。2.2 万キロに及ぶ同ケーブルシステムはエジプトの全土を完全網羅し、アジア、アフリカ、ヨーロッパを結ぶ重要なハブとしての役割を果たす。

<https://www.africanwirelesscomms.com/news-details?itemid=9429&post=telecom-egypt-and-subcom-complete-landings-of-the-sea-me-we-6-subsea-cable-in-egypt-439690>

(19)【アルジェリア】Hisense、アルジェリアからエジプトとチュニジアへ初輸出で地位強化

Hisense は、Condor Group と共同で開発したアルジェリア工場からの中東・北アフリカ地域における成長戦略の重要なマイルストーンとして、初の大型輸出事業を開始。現地で製造された Hisense のテレビと洗濯機計 5 千台以上が、エジプトとチュニジアを含む戦略的地域市場に輸出された。

<https://www.prnewswire.com/news-releases/hisense-strengthens-regional-position-with-first-major-export-from-algeria-factory-to-egypt-and-tunisia-302503185.html>

(20)【モロッコ】ステランティスがモロッコ工場の拡張に12億ユーロを投資

多国籍自動車メーカーのステランティスは、モロッコのケニトラ製造施設を拡張するため、追加で12億ユーロを投資、年間生産能力は現在の34万台から53.5万台（乗用車と商用車を含む）に倍増した。同時に3,100人の新規雇用が創出され、2030年までに現地調達率を現在の69%から75%に引き上げる予定。

<https://www.automotiveworld.com/news/electric-mobility-news/stellantis-invests-e1-2bn-in-morocco-plant-expansion/>

■その他

(21)【アフリカ輸出入銀行/その他】アフリカが初の汎アフリカカード制度を立ち上げ

第32回アフリカ輸出入銀行(Afreximbank)年次総会にてアフリカ主導による金融イニシアチブの実現に向けた支払いシステムを構築に関する発表があり、貿易統合を促進する取り組みとしてパンアフリカン・ペイメント・アンド・セトルメント・システムカード(PAPSSCARD)の導入が進められている。アフリカ輸出入銀行(Afreximbank)、パンアフリカン・ペイメント・アンド・セトルメント・システム(PAPSS)、およびマーキュリー・ペイメント・サービス(MPS)の合併事業であり、アフリカ各国間で迅速、安全、かつ低コストの小売決済を可能にする。大陸初の汎アフリカカード制度である PAPSSCARD の立ち上げにより、金融自立に向けた重要な一歩を踏み出した。

<https://afreximbank.africa-newsroom.com/press/africa-launches-first-panafrican-card-scheme--papsscard?lang=en>